

「大分県中期行財政運営ビジョン」(素案)に対する意見募集用紙

担当：大分県総務部行政企画課

住 所	〒870-0924 大分市牧 3-13-30 「大分に青少年科学館を作る会」事務局 山本幸司
氏 名	「大分に青少年科学館を作る会」 会 長 船 田 工
電話番号	(事務局) TEL : 097-556-5057 FAX : 097-556-5067
<p>(ご意見・ご提案等記述欄)</p> <p>平素より、大分県の発展に向け多大なるご努力をされている広瀬知事及びスタッフの皆様にご心より敬意を表します。</p> <p>さて今回示されました「大分県中期行財政運営ビジョン」(素案)ですが、その冒頭において“「行財政改革プラン」の枠組みを超え、「夢と希望あふれる大分県」の実現に向けて”と謳われており、大変な期待を持って拝読いたしました次第です。</p> <p>まず最初に、本「大分に青少年科学館を作る会」に関係した部分について全体的な感想を述べさせていただきます。</p> <p>そもそも県は平成17年に発表した「大分県長期総合計画：プラン2005」の重点戦略において、“青少年に自然科学への興味・関心を抱かせる環境の整備”をすとか、“青少年が自然科学を体験し、親しむことのできる施設やプログラムを充実”するといった方針を打ち出されました。その後、平成18年度から19年度にかけて、「おおい たっ子科学マインド育成事業」を実施し、その具体的行動を開始されました。</p> <p>そのような中、今回のビジョンにおいて、“「プラン2005」のさらなる推進”として『子どもたちの挑戦や自己実現を支える大分県』なる目標を3本柱の一つに挙げられた事は、本会が常々主張しております”青少年科学館の設置を核とした科学教育、科学文化レベルの向上と地域発展”を含む本県教育界の抱える諸課題の解決に向けて並々ならぬ決意と情熱を示されたものと高く評価申し上げる次第です。</p> <p>さて次に、その具体的な記述内容に目を移したいと存じます。</p> <p>2. 子どもたちの挑戦や自己実現を支える大分県</p> <p>(1) 教育の再生 において、</p> <p>“子どもに科学への興味・関心を抱かせるための仕組みについても検討します”と述べられております。</p>	

しかし当該部分の記述については、以下のような問題点を指摘したいと思います。

1. 「プラン2005」における“青少年に自然科学への興味・関心を抱かせる環境の整備”、“青少年が自然科学を体験し、親しむことのできる施設やプログラムを充実”を「さらに推進させる」はずの本ビジョンにしては、極めて弱い表現ではないか。むしろ施策が後退した印象さえ受ける。

また、理学系だけでなく技術・工学系教育の振興が本県にとっては重要であることに鑑み、今後は“科学”又は“自然科学”という語句は“自然科学や技術”という言葉に置き換えることを提案する。

2. 「プラン2005」から「おおいたっ子科学マインド育成事業」を経て4年を経過した現段階においては、更に進んだ、かつ具体的な目標を掲げるべきではないか。

3. 本ビジョンがあくまでも「プラン2005」（平成27年度目標）のさらなる推進を目的とする以上、今後3年の中期的ビジョンを示すのみでなく、本県における科学教育・科学文化レベル向上の長期的な目標（平成27年目標）について、そのあるべき姿を示すべきでないか。

4. また、上記3の議論が本ビジョンの範囲を超えるというのなら、例えばそのための有識者会議を設置する等、具体的な議論をスタートさせない限り「プラン2005」に掲げた目標の達成は不可能なのではないか。また、そのような有識者会議の設置を本ビジョンにおいて明記すべきではないか。

以上、思いつくままに意見を述べさせていただきましたが、いずれにせよ「プラン」や「ビジョン」は、あくまでも机上の計画に過ぎず、その実現に向けて県や我々市民、さらには教育界や財界が力を合わせて努力をして行くことこそ真に重要であると考えております。

本県の発展に向けて、今後ともなにとぞ宜しくご尽力くださいますようお願い申し上げます。

【提出先】大分県総務部行政企画課

〒870 - 8501 大分市大手町3丁目1 - 1

電話：097 - 506 2238

FAX：097 - 506 - 1712

E-mail：a11100@pref.oita.lg.jp